

題材

構成

考えの形成・記述

推敲すいこう

共有



# 確かな根拠をもとに意見文を書く

## 目標

- 意見と根拠など、情報と情報との関係について理解する。
- 適切な根拠を示して、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。



## 確かな根拠

自分の考えをより確かに述べるために、あえて自分とは異なる考えを、文章の中に取り入れることがあります。別の視点から検討した結果、自分の考えのほうが、利点が多いのだと結論づけることができ、より説得力のある文章になります。



ヒント

さまざまな人の立場で、自分とは異なる考えをもつ人がいることを想像しましょう。そして、自分の考えと、自分とは異なる考えのそれぞれの根拠を比べ、自分の考えの適切さを導き出しましょう。

■ 根拠を確かにする方法  
意見文「学校に自動販売機は必要か」

賛成

- ・ 冷たいものが飲める。
- ・ 熱中症対策。
- ・ 非常用食料。

反対

- ・ 水道がある。
- ・ 水筒を持参すればよい。



### 主張・意見

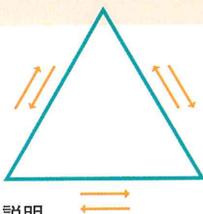
- ・ 事柄を整理する。
- ・ 自分の立場や見方を決める。

### 理由づけ

- ・ データや体験の説明や分析。

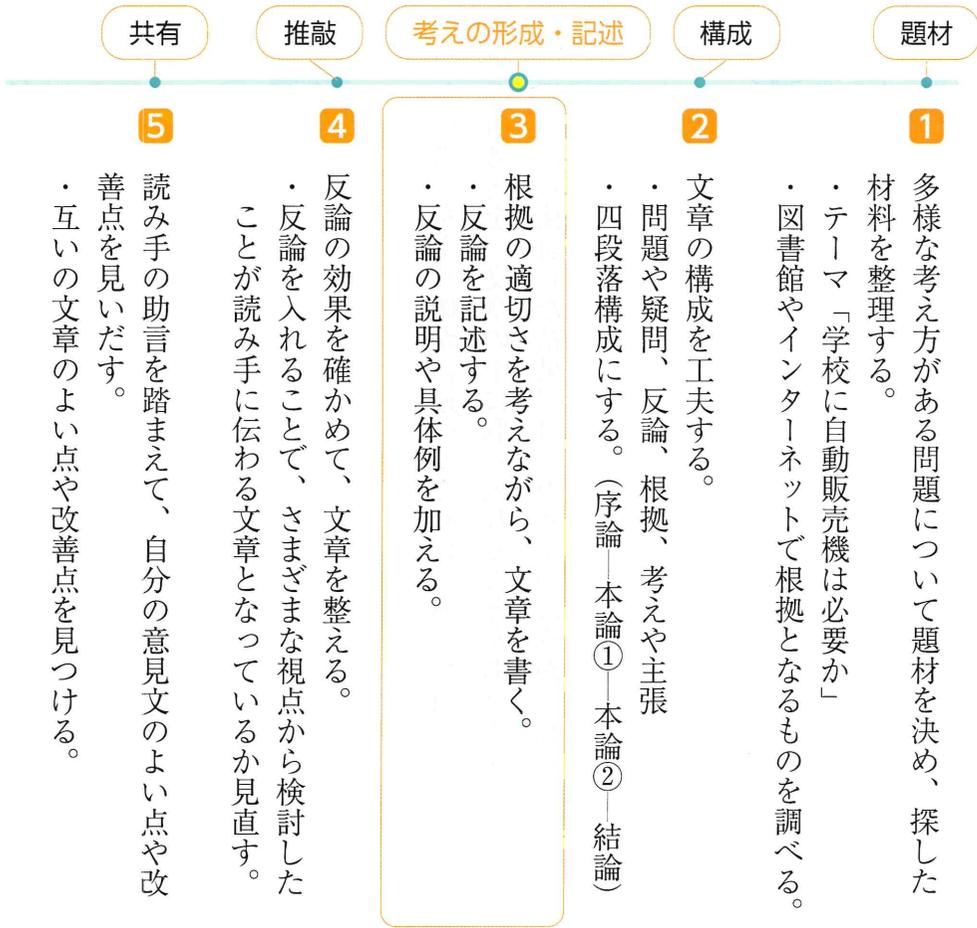
### 根拠（事実）

- ・ データに基づく事実。
- ・ 体験に基づく事実。





## 学習活動の流れ



## 反論を入れる様子



自動販売機が不要だと考える人は、水筒を持参していることを根拠にあげそうだね。



確かに、水筒を持参する人も、少ないからね。



そうだね。水筒を持参するとしても、飲料の自動販売機が、健康や防災上必要だという考え方を示せばよいのだけだ。



防災の面をあげても、お金を支払うことをためらう人もいないかな。



では、水筒と支払いのことを反対の考えや主張の理由として書こう。

反対の考えや主張だけを述べるのではなく、その理由も示そう。



学校に自動販売機は必要か

① 本校ではパンの販売が実施されている。販売といえば飲料の販売、すなわち自動販売機の設置も考えられる。本校に自動販売機は必要なのだろうか。

② 確かに、水筒を持参すればよいことであるし、お金を払ってまで買う必要があるのかと疑問に思う人もいるだろう。しかし、自動販売機は学校に不可欠であると私は考える。

③ 理由は二つある。一つめは熱中症対策となるからだ。夏場、持参した水筒の中身を飲みきってしまったとしても、スポーツドリンクを購入することができれば、安心して部活動に取り組むことができる。二つめは非常用食料となるからだ。もし、災害発生時に無償提供をする自動販売機であれば、校内でライフラインを確保することができる。本校は、災害時の避難所に指定されていることから、本校生徒だけでなく、地域の人にとっても備蓄品として提供できる。

④ 以上のことから、私は本校に自動販売機が必要だと考える。

言葉・情報

- ・確かに、……。しかし、……。(反論)
- ・理由は二つある。一つめは……。二つめは……。(順序)

学びを生かす

振り返り

- 取り上げる情報の関係を踏まえ、効果を理解して反論を入れているか。
- さまざまな視点から検討したことが読み手に伝わっているか。

① 序論では、多様な考え方ができるように問題提起する。

② 反論として、反対の考えや主張を記述するだけでなく、その根拠も簡潔に加えるようにする。

③ 理由づけと事実を合わせて根拠として示すことができるようにする。

④ 再度、自分の考えや主張を明らかにするとよい。

理科の学習を生かし、根拠と主張を考えてみよう。  
・身近な自然環境を大切にするためには

# 学びのチャレンジ

ここには、さまざまな文章や資料を読みながら、考える力や目的に応じて判断する力、表現する力を高めていくための問題を設けました。

自分の力で挑戦してみましよう。

また、問題に取り組んでみて、これまでの自分の学びを振り返りながら、考えたことや課題に思ったことなどを、話し合ってみましよう。

## 問題1

規約などを正確に読み取る。

「生徒会規約」

## 問題2

集めた材料を整理して自分の考えをまとめる。

内閣府「令和三年度 国民生活に関する世論調査」

カンサンジュン  
姜尚中「悩む力」

問題1

選挙管理委員である中村<sup>なかむら</sup>さんたちは、九月に始まる生徒会役員選挙の準備を進めています。次は、【生徒会規約の一部】とそれをもとに中村さんが作成している【生徒会役員選挙告示の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【生徒会規約の一部】

第三章 選挙

第一条 生徒会役員の改選は、選挙管理委員会の運営のもと、十月に行う。ただし、三年生は被選挙権はもたない。

第二条 立候補者は推薦者<sup>すいせん</sup>を一名定めて規定の用紙に連名で記名のうえ選挙管理委員会に届ける。

第三条 投票は次のとおり定める。

一、投票用紙は選挙管理委員会の作成したものとする。

二、当選は得票数の多い候補者の順に決定する。

第四条 立候補者がその役職に対し一名のみの場合は、信任投票となる。このときは全生徒の過半数の信任が必要である。

第四章 選挙運動

第一条 選挙運動は生徒会規約が定めた方法<sup>いっだう</sup>を逸脱してはならない。

第二条 選挙運動の期間は立候補届けをした日から投票日の前日までとする。

第三条 選挙運動は昼休み、放課後を利用する。ただし運動は校内に限り、学校の行事等に支障をきたしてはならない。

第四条 立会演説会では、立候補者および推薦者が演説を行う。

【生徒会役員選挙告示の下書き】

告示

生徒会規約第三・四章に基づき、第五十期生徒会役員選挙を告示します。なお、改選役職および選挙日程などは、左記のとおりです。

二 選挙日程

○立候補の受付

受付期間 二〇二五年九月二十四日(水)～十月一日(水)

日(水)

受付場所 二階生徒会室(昼休みのみ)

選挙運動期間 受付後～十月七日(火)朝・昼休み

○立会演説会および投票日

二〇二五年十月九日(木) 五校時

○選挙結果報告

二〇二五年十月十日(金) 玄関ロビーに掲示

二〇二五年九月八日

選挙管理委員会

記

一 役職名

○会長

一名

○副会長

一名

○生活専門委員長

一名

○学習専門委員長

一名

○保健美化専門委員長

一名

○図書専門委員長

一名

○議長

一名

○副議長

一名

第一問

選挙管理委員の中村さんは、「生徒会規約の一部」を参考にして、選挙に関して寄せられる主な質問をメモに整理しています。

- 1 「答え①」を参考にして、アからウに入る内容を書きなさい。
- 2 「答え④」の根拠となる規定がなぜ定められているのか、理由を考えて、二十字以内で書きなさい。

メモ「よくある質問とその答え」

問① 推薦者は何人必要ですか。

答え① 一人。

第三章 第二条による

問② 授業の合間の休み時間に選挙運動はできますか。

答え② できません。

ア

問③ 立候補者は、投票日に立会演説以外の演説ができますか。

答え③ できません。

イ

問④ 三年生は、立候補できますか。

答え④ できません。

ウ

## 第二問

中村さんは【生徒会規約の一部】と【生徒会役員選挙告示の下書き】を照らし合わせる作業をしていたとき、【生徒会役員選挙告示の下書き】に誤りが二か所あることに気づきました。【生徒会規約の一部】の第四章第二条、第三条を参考にして、誤った箇所を指摘しなさい。

## 第三問

選挙管理委員会は投票後、票数の集計を行い、【候補者の得票数と当選者一覧】（なお、票数には、無効票、白票も含むものとします。）を出し、当選者の決定をしています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【候補者の得票数と当選者一覧】

役職	立候補者	得票数	当選
会長	中里 純子	二九八票	
副会長	寺崎 鉄夫	一二七票	
	大崎 春男	六二票	
生活専門委員長	夏木 達子	一一一票	
	上野 仁	一五〇票	
	近藤 さやか	一四〇票	
学習専門委員長	寺島 絵里	一五一票	

副議長	議長		図書専門委員長		保健美化専門委員長				
	青山 三郎	太田 悟	秋山 まみ	浅田 洋子	小山 順次郎	藤原 信治	木村 孝雄	石田 夕子	足立 英美
	一五〇票	一五一票	一四九票	一七五票	一二五票	五九票	五三票	六三票	一二五票

1 当選した人はそれぞれ誰ですか。【候補者の得票数と当選者一覧】の「当選」欄らんに○を書きなさい。ただし、全生徒数は三百名とし、全員投票したものとします。なお、副議長の当落については答える必要はありません。

2 選挙管理委員会は、副議長候補者の青山三郎さんを落選としました。そのように判定した理由を、次の条件1から条件3に従って書きなさい。

条件1 【生徒会規約の一部】を引用し、根拠を明確にして理由を書くこと。

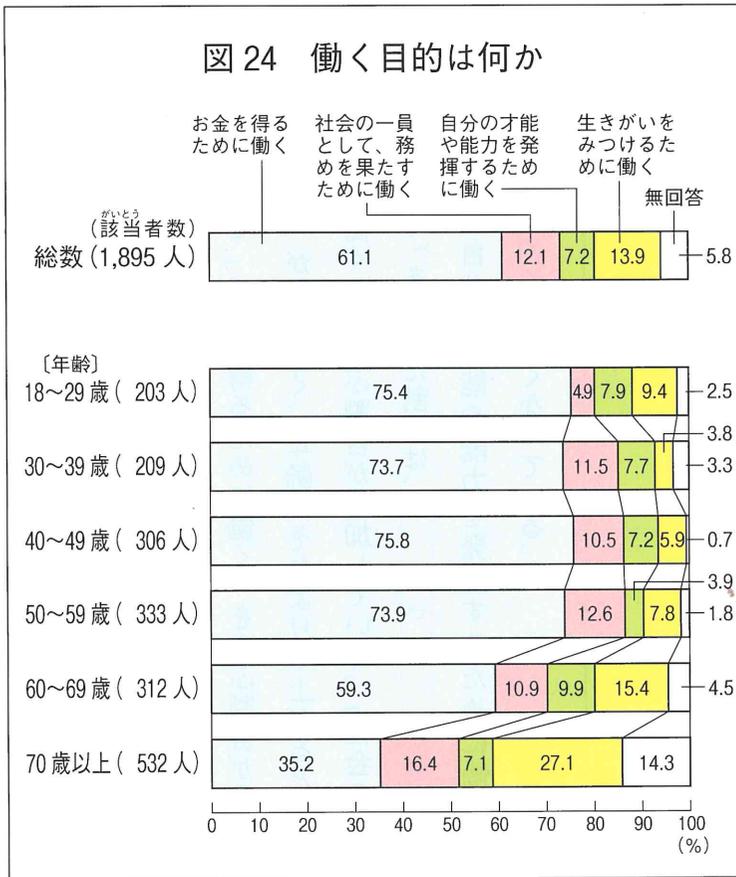
条件2 引用の際には「」（かぎ）を使うこと。

条件3 九十字以上、百五十字以内で書くこと。

問題2

大杉さんおおすぎのクラスでは、総合的な学習の時間に、「働く目的」について自分の考えを文章にまとめる活動を行っています。【資料】「大杉さんのノートの一部」【大杉さんの文章の下書き】【参考にした本の一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料】



(内閣府「令和三年度 国民生活に関する世論調査」より)

働く目的について

■【資料】のグラフの分析からわかったこと

どの年代でも「お金を得るために働く」を選ぶ割合が最も高いが、その割合は、  
**A**が最も高く、年齢がそれよりも上がると減少し、「生きがいをみつけるために働く」を選ぶ割合が増加していく。「社会の一員として、務めを果たすために働く」を選んだ割合は、  
**B**が最も低く、  
**C**が最も高い。「自分の才能や能力を発揮するために働く」を選んだ割合は、  
**D**が最も高くなっている。

【大杉さんの文章の下書き】

社会で確かに生きていくために

大杉太郎たろう

- ①内閣府の世論調査では、どの年代でも働く目的について、「お金を得るために働く」を選ぶ割合が高くなっています。
- ②確かに多くの人の働く目的は、お金を得るためなのかもしれませんが。
- ③しかし、『悩む力』（姜尚中）によれば、人の働く目的はそれだけではありません。



④私の父（五十三歳）に尋ねてみたところ、内閣府のグラフを見ながら、「お金を得るために働いているといえば、そうともいえるかもしれないね。ただ、長いこと仕事をしていると、お客さんに感謝の言葉をもらえたときは、自分の仕事の方向はまちがっていないなかったんだと励まされたり、これまで社会の中でいろいろな人々と関わってたくさん仕事をしてきてよかったなと感じたりすることもある

よ。」と答えてくれました。

⑤同様に、私は以前、地域清掃の仕事を補助をするボランティア活動に参加したことがあります。清掃範囲は広く、ごみもたくさんあり大変でしたが、作業の途中で、通りすがりのかたから「ご苦労さまです。」とか、「ありがとう。」といった声をかけてもらったことがありました。その時は、うれしさはもちろん、ボランティアの仕事を通じて社会と関わることでできた充実感や、やりがいを感じることができました。

⑥だから、私は、社会と関わりをもつことをとおして、自信ややりがいを得ることが人の働く目的として大事なのではないかと思えます。

【参考にした本の一部】

私自身、サービス業に携わる者として、毎日多くの人とコミュニケーションをしますが、疲れながらも、やはり多くのものをもらっていると思います。そして、その場合に得るものは、やはり働くことの第一義である「他者からのアテンション」の一種ではないでしょうか。

自分自身に「私はなぜ働いているのか」と問うてみる必要があります。すると、いろいろ考えたあげく、他者からのアテンションを求めているから、という答えが返ってきます。

お金は必要ですし、地位や名誉めいよはいられないと言ったらうそですが、やはり、他者からのアテンションがほしいのです。それによって、社会の中にいる自分を再確認できるし、自分はこれでいいのだという安心感が得られる。そして、自信にもつながっているような気がします。

(姜尚中『悩む力』より)

注1 アテンション……「ここでは」ねぎらいのまなざし」の意味。

## 第一問

【大杉さんのノートの一部】の **A** から **D** にあてはまる年齢を、次のアからカの中からそれぞれ選びなさい。

- ア 十八～二十九歳      イ 三十～三十九歳  
ウ 四十～四十九歳      エ 五十～五十九歳  
オ 六十～六十九歳      カ 七十歳以上

## 第二問

大杉さんは、ノートをもとに、意見文の下書きをまとめました。【大杉さんの文章の下書き】の書き方としてあてはまらないものを、次のアからエの中から一つ選びなさい。

- ア 第2段落では、「確かに」という言葉を用いて、問題を提起している。  
イ 第3段落では、「しかし」という言葉を用いて、第1段落、第2段落の内容に反論している。  
ウ 第5段落では、「同様に」という言葉を用いて、第4段落の内容を補っている。  
エ 第6段落では、「だから」という言葉を用いて、全体の結論を述べている。

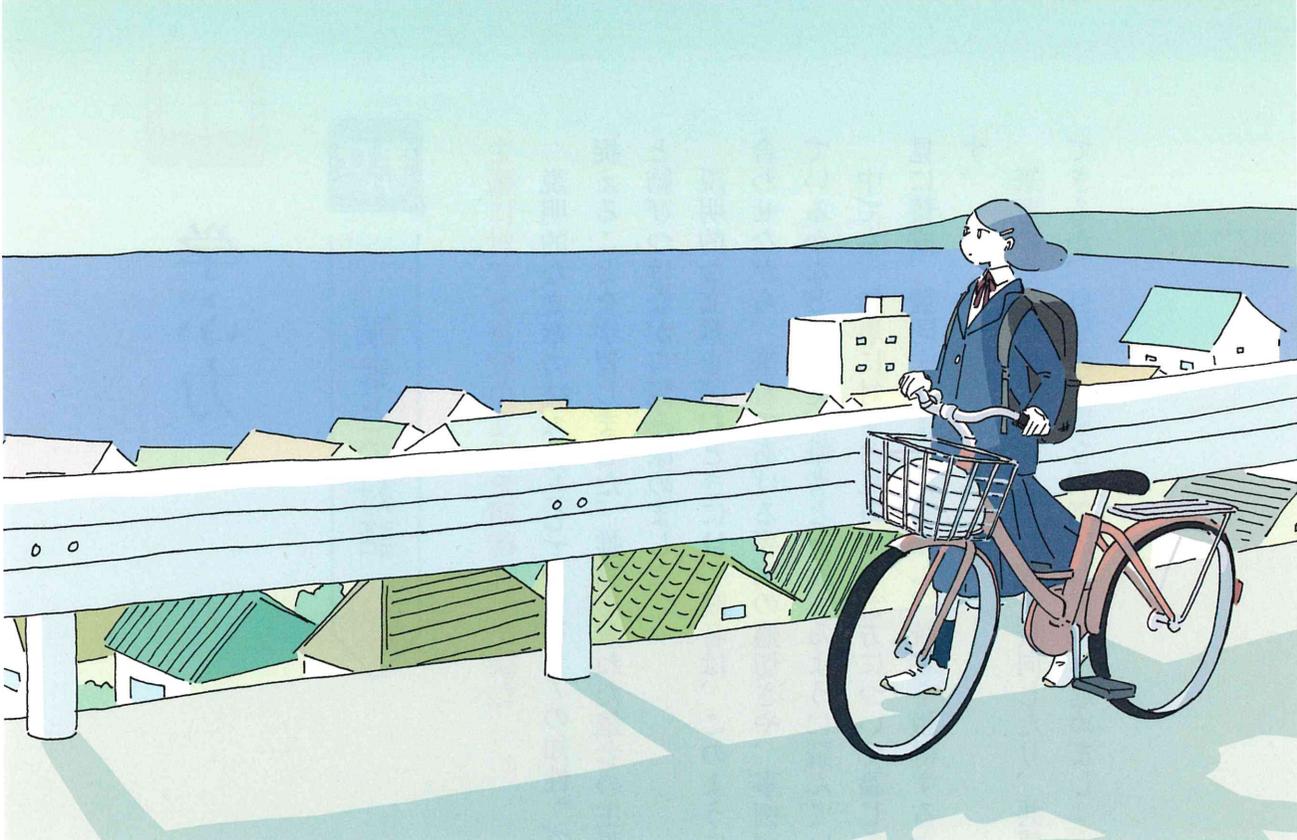
## 第三問

大杉さんは、【参考にした本の一部】の内容を  ★  に取り入れ、より自分の考えが伝わる文章になるよう工夫しようとしています。次の条件1から条件3に従って、 ★  の中の文章を書きなさい。

条件1 【参考にした本の一部】から引用したり要約したりして書くこと。

条件2 【参考にした本の一部】の内容に対する自分の意見を含めて書くこと。

条件3 九十字以上、百十字以内で書くこと。



# 八 考えと向き合う

筆者との対話

学ぶ力 内田 樹

さまざまな考えを踏まえる

さまざまな考えを踏まえ討論をする

言葉と社会 2 社会生活と言語コミュニケーション

文法の小窓 3 付属語のいろいろ

広がる本の世界 8

漢字の練習 5

四季のたより 冬 雪